

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2013/09/19

第6号

シニアクラブ第2回総会を開催（9/15）

～ 全国の退職者組織の結成促進と連携強化を確認 ～

基幹労連退職者の会第2回総会が、9月15日（日）東京都港区「TKP 田町カンファレンスセンター」において、総会構成員である25県本部退職者組織の代表およびシニアクラブ本部役員に加え、県本部退職者の会未設置県の代表および県本部事務局長のオブ参加を得て盛大に開催



されました。総会は江畑幹事の司会、豊浦和歌山県組織代表の議長で進められました。まず、宮園会長から「組織体制の確立が当面の最大課題である」との挨拶があり、来賓として、基幹労連三役を代表して神津委員長から、退職者連合の阿部会長から激励の挨拶をお受けしました。

本総会の審議では、本年4月22日に結成して以降の活動経過の報告承認を受けるとともに、2014年度の活動計画と予算を満場一致で決定しました。

独立した予算を確立・新たに会計監査を選任

方針の特徴点としては、①全国の退職者組織の結成を促進するとともに、結成されている組織との連携を強めていくこと、②退職者連合の地方活動に対しても各県の実情に即した内容で参加していくこと、③基幹労連からの助成金を受け、シニアクラブとしての独立した予算を確立したこと、④そのために会計監査を新たに選出したことなどです。

新たに選出された会計監査は、中里良直（大同特殊鋼労連出身）、吉沢勇次（基幹労連中央執行委員）のご両名です。



活動計画提案/小栗事務局長

総会では、「退職者連合の活動の内容と各県本部シニアクラブとの連携（大阪）」について質問が出され、事務局長から「今後、適切に情報提供を行い、必要に応じて関係者と相談していく」との答弁がありました。また、「会費については徴収しないことを前提にしている（広島）」との意見が出され、意見として受け止めました。



議長/豊浦和歌山県代表



予算提案/田中副事務局長



会則改正提案/西澤副会長

第2回総会における宮園会長の挨拶（要旨）



基幹労連シニアクラブは、今年4月22日に結成総会を開催し、約5ヵ月が経過しました。

この間の取り組みの中心は、7月に施行された参議院選挙への対応でした。強烈な逆風の中で、それぞれの出身組合と連携を取りながら支援活動を展開された退職者の会・連絡会各組織の皆さん方に感謝申し上げますとともに、基幹労連の現役の皆さん方のご奮闘に敬意を表したいと思います。しかし、この6年間、誠心・誠意、愚直に政治や基幹労連構成組織の産業・事業に関する産業対策に取り組んできた轟木さんの議席を守ることができなかったことは誠に残念です。基幹労連は先週の定期中間大会において、今回の結果も踏まえ、組織力の再構築等に向けて新たなスタートをきっています。私どもシニアクラブ

も「オール基幹労連」の一員としての役割と責任を果たしていかなければなりません。

当面の最大の課題は、組織体制の確立

シニアクラブの当面の最大の課題は、組織体制の確立です。基幹労連42県本部のうち25の県本部で退職者の会が組織化されています。したがって、未組織の17県本部の退職者の会早期結成はもちろんですが、既に結成されている県本部でもごく一部の加盟組合のみでの組織化で、まだまだ不十分なところが大半であるだけに、可能な限り全体への拡がりを目指すなど、さらなる充実強化が必要です。

現在、シニアクラブの役員は中央OB会（幹の会）のメンバーで構成しています。これは、あくまでも各県本部の退職者の会が確立するまでの暫定措置であって、いずれは役員構成も含めて42の県本部退職者の会をもって組織体制を確立していくことが必要であり、少しでも早く本格的体制へ移行できるよう努力しなければなりません。

退職者の会結成やその拡充に当たっては、現役の皆さん方のご支援が不可欠です。あらためて、産別本部、県本部の皆さん方の格段のご指導・ご支援をお願いするものです。私どもシニアクラブも、役員が中心になって現役と帯同のオルグを実施するなど、具体的行動を通じてその実現を目指していくこととします。

「オール基幹労連」の一員としての役割発揮を

老後を安心して暮らせる社会、そして安心・信頼の社会保障制度の確立は、私ども退職者の会にとってまさに重要な課題です。退職者連合は、こうした高齢者に関わる政策・制度諸課題の解決・改善に向けた活動を展開するとともに、「300万退職者連合」を目指した組織拡大の取り組みを進めています。こうした退職者連合の活動に積極的に参画することはもちろんのこと、基幹労連シニアクラブが中央、地方の退職者連合の一組織としてその役割・責任を果たしていけるように、まずは「組織体制の確立」を当面の最優先課題として力を入れていかなければなりません。

10月の連合大会で神津委員長が連合の事務局長に就任される予定、とのこと。私どもOBとしても大変喜ばしいことであり、益々のご活躍を祈念するものです。同時に、連合事務局長を派遣している産別、そしてその退職者の会ということも意識し、「オール基幹労連」の一員として、その役割が果たせるように頑張っていきたいと思えます。

（基幹労連神津委員長の挨拶要旨）

OB・現役一体となった活動を

シニアクラブ結成から5か月、この間の中央本部役員および各県本部における組織結成、運営充実にご努力いただいていることに敬意を表します。労働運動の原点は、職場における一人一人が主役であり、退職者の会も同様で、一人一人の退職者に寄り添う活動が大切だと思います。ユネスコの世界文化遺産登録をめざしていることが報道されたが、明治日本の産業遺産のほとんどは基幹労連の構成組織である。歴史と伝統がある産業、企業であり、OB・現役が一体となった活動を進めたい。



（退職者連合の阿部会長の挨拶要旨）

社会保障制度全般について逆風が



7月1日から基幹労連シニアクラブとして組織登録いただいた。300万退職者連合の組織拡大方針を掲げており、基幹労連シニアクラブの加入は大変心強い限りである。社会保障制度全般について民主党政権時代は良い方向に進んでいたが、政権交代があって逆風になった。主な政策としては後期高齢者医療制度の廃止問題、さらに年金のマクロ経済スライドにより物価の上下に関わりなく年金が毎年0.9%支給額をカットされることなどの問題が出てきており、これに対抗していきたい。高齢者が元気で暮らせる社会をめざしてともに頑張りましょう。

日本高齢・退職者団体連合（退職者連合）全国集会に初参加

退職者連合「2013全国高齢者集会」が9月15日（日）13時から東京・日比谷公会堂において開催されました。この集会に基幹労連シニアクラブとして初めて、約30名が参加しました。主催者の阿部会長は「3.11大震災を風化させることなく、被災された皆さんに『花は咲く』

その日まで支援していく」「政権交代により公共事業が優先され社会保障制度が後退しないように行動していく」ことなどを強く訴えました。



基調報告として「退職者連合は、連合とともに『全世代型支援の社会保障で働くことを軸とする安心社会』の実現をめざしていく」との提案が行われました。

集会終了後は東京の中心地をデモ行進する予定でしたが、台風18号の影響もあって中止となりました。

基幹労連シニアクラブとしての来年度以降の全国集会への参加のあり方については、今後、三役会、幹事会で相談して決定していきます。



退職者連合・第1回組織代表者会議に出席

「2013全国高齢者集会」の翌日、9月16日（月）9時30分から、東京・ルポール麹町において、退職者連合第1回」組織代表者会議が開催されました。この会議は都道府県の地方退職者組織と中央退職者組織の代表者の出席によって開催されるものです。会議の冒頭に新退職者組織として基幹労連シニアクラブの紹介が行われ、宮園会長から代表して挨拶を行いました。宮園会長は「中央の組織はできたが、地方組織の多くはこれから立ち上げていく段階にある」との状況を説明し、理解と支援を求めました。

会議では、介護保険制度改革に向けた運動の展開について提案があり、各自治体に対する要求を行う方針が示されました。また、政府の社会保障制度改革国民会議報告書の評価と問題点が示されました。この報告書については「改革の名に値しない」不十分なものであることを指摘するとともに、是は是・非は非として連合と力を合わせて取り組んでいくことを確認しました。

本件に関する資料が必要な県本部組織は基幹労連シニアクラブ事務局にご連絡ください。

